

らら京都 ニュース

「第35回KYOのあけぼのフェスティバル2023」を開催。

プログラム

- ・主催者挨拶
- ・京都府あけぼの賞表彰式
- ・シンポジウム
- ・ワークショップ
- ・バザール

去る10月21日(土)、京都府総合見本市会館(京都パルスプラザ)において、男女が社会の対等な構成員として、様々な活動に参画し、輝くことができる男女共同参画社会の実現をめざして、「KYOのあけぼのフェスティバル」を開催。

35回目となる今年は、「学び・つむぎ・創造する輝く未来へ～文化の都 京都～」をテーマに実施しました。

○式典

主催者挨拶
京都府知事 西脇 隆俊
KYOのあけぼのフェスティバル実行委員会
委員長 田中 田鶴子
来賓紹介
京都府議会副議長 石田 宗久 氏 他



○京都府あけぼの賞表彰式

「京都府あけぼの賞」は、男女共同参画による豊かな地域社会の創造に向けて、女性の一層の能力発揮を図るため、各分野での功績の著しい女性に京都府知事が授与するものです。

今年度は、35回記念特別賞を含め、個人6名・2団体を表彰しました。

- ・アンナ・クレシェンコ(Flora株式会社 代表取締役CEO・創業者)
- ・桂 二葉(落語家)
- ・加藤 未唯(プロテニス選手)
- ・桑原 亮子(脚本家)
- ・千早 茜(小説家)
- ・宇川加工所(地元

(京丹後市)食材を活用した特産品開発・販売、高齢者の移動支援等活動)
＜35回記念特別賞＞

- ・武會 恵理(京都華頂大学教授・日本女性腎臓病医の会代表世話人)
- ・社会福祉法人青谷学園(障害者支援施設等の運営)



○シンポジウム

「今こそ知りたい京都文化～私たちに受け継がれた文化とは～」

長い時の流れの中で、人々の関心や興味が移り変わる時代にあっても、脈々と受け継いでこられた京都文化についてご紹介いただくとともに、これからも将来に大事なものとしてつむぎ、後世に伝えていくための取組や工夫についてお話をいただきました。

参加者からは「京都文化の素晴らしさを聞き感動した。」「普段聞けないお話が聞けてよかった。」「京都に文化庁が来た意味がわかった気がする」等、好評をいただきました。

登壇者

- ・田中 恵厚 氏(寶鏡寺二十九代門跡)
- ・山科 言親 氏(衣紋道山科流30代家元後嗣)

コーディネーター

- ・村上 祐子 氏

(元KBS京都アナウンサー・NPO法人五節句文化アカデミア理事)



○パネル展示

男女共同参画の推進(府市連携による活動紹介)

○あけぼのバザール

女性団体や京都府農芸高等学校の生徒が府内産の新鮮野菜や加工品、アクセサリー、雑貨等の販売を行いました。

参加者と出店者、出店者同士の交流を深める機会・場の提供ができました。

○スタンプラリー

バザール会場内のお店で商品を購入、ワークショップに参加してスタンプを集めた方に景品をプレゼントしました。

○ワークショップ

各女性団体が男女共同参画の実現に向けた企画を講演や参加型ワークショップなどにより実施し、参加者からは「バラエティに富んでいて楽しかった」等の声があり、好評を得ました。

